

## 12月定例教育委員会議事録

- 1 日 時 平成26年12月24日(水) 午前9時30分から午前11時26分
- 2 場 所 宗像市役所本館3階301会議室
- 3 出席委員 委員長 井上裕之  
委員 川上美子  
委員 中岡政剛  
委員 宮司葉子  
教育長 遠矢修
- 4 その他の出席者 教育部長高橋勇次、子ども部長柴田祐治、教育部主幹指導主事齊藤智恵美、市民協働・環境部理事鶴英樹、教育政策課長岡田光晴、教育政策課指導主事高木陽一郎、教育政策課指導主事西島潔、教育政策課指導主事正路澄代、学校管理課長衣笠哲哉、子ども育成課長中野万由美、図書課長長谷川愼、コミュニティ・協働推進課参事村上治彦、教育政策課政策係企画主査船越健樹、教育政策課教育連携コーディネーター田中雅子、  
※傍聴 なし

### 5 前回(11/20定例)議事録の承認(資料1)

### 6 協議事項

#### ①平成27年度教育施政方針骨子(案)について(資料2)

【教育政策課長】 資料2参照(▲5分30秒)

教育施政方針骨子案として構成と要点を載せております。今後のスケジュールでございますけれども、この骨子案を基に来月の教育委員会で教育施政方針案を提案したいと思っております。市長部局の施政方針は、3月議会に向けて2月初旬に議員に議案を送付すると聞いております。従いまして、スケジュールはタイトになるのですが1月教育委員会で意見をいただきまして、それを修正したものを確認していただき、教育施政方針と市政方針併せまして議員さんに送付させていただきたいと思っております。(▲5分30秒)

【中岡委員】 14ページの⑥一番下の部分のアセットマネジメント計画に即した学校適正化というのは、何を適正化するのでしょうか。

【教育政策課長】 学校規模の適正化です。

【川上委員】 市長の施政方針もボリュームを減らすという事ですが、今回、子ども部と一緒に、グローバル人材の育成に関しては係も設置されるので、それに関しての施策の部分が薄いかないかと思いましたが。学校教育の中で英語教育を図るという事は取り上げられていますが、それだけではない部分があるはずで、部と一緒にすることでより拡充していく

ところではないのかと思います。

【子ども部長】 市長部局と教育委員会が一体となり取り組んでいこうというという事で教育子ども部の中に係を新設する予定です。なかなか境目が難しいのですが、市長の施政方針の中で取り上げられています。

【井上委員長】 去年は「信頼される学校づくりの推進」という表題だったと思うのですが、ここを「学校教育の充実」に変更した理由はあるのでしょうか。

【齋藤主幹指導主事】 「信頼される学校づくり」というのは限定されているところがあり、今度の教育基本計画の7つの重点施策全体を総括できるように「学校教育の充実」という大きな言葉で捉えております。

【井上委員長】 去年は「豊かな心を育む」のところで、読書環境の整備と読書活動を重視した調べる学習の推進の記述がありましたが、今年は記述しないのは何か意図があるのでしょうか。

【齋藤主幹指導主事】 教育基本計画とある程度項目を合わせております。図書行政を項目として取り出しているという事もあって③の中からは外しているのですが、アクションプランの中では、豊かな心の中に読書を入れております。

【井上委員長】 (3)の「図書行政の充実」での記述では弱いと思います。

【齋藤主幹指導主事】 図書だけ視点を当てるという事で(3)として取り出しており、その中の②の「学校図書館機能の強化」という部分に「調べる学習コンクール」の記述を追加することで検討させていただきます。

【川上委員】 今回の教育施政方針案に基づく、いじめ防止基本方針、食育推進計画、アセットマネジメント計画等の計画案等を参考に見せていただきたいと思います。

【教育部長】 それぞれの計画案は、現在、策定中です。次回定例教育委員会では、ある程度の形で報告できると考えております。

【川上委員】 学園コーディネーターの増員が予定されていると思うのですが、今年度初めて設置し、来年度増員するという事は効果があったのでしょうか。特別支援教育支援員の増員になりますが、何年か前に減らされたとは私は記憶しているのですが、今回増員されるという事は、状況に変化が訪れたのかなと思ひまして、その件もお聞きしたいと思ひます。

【齋藤主幹指導主事】 こちらの意図している学園コーディネーターとして位置づけされたのは城山中校区で、それ以外の2名につきましては、どちらかという小中一貫支援教員の流れをくんだ役割になりました。城山中校区では学校間の連携で大きな力を発揮していただき効果はあると実感しています。来年度は3人にきちんとした役割を定める予定です。

【教育政策課長】 特別支援教育支援員の件ですが、確実に特別支援を要する子というのは、増えてきておりました。ご存知の通り今年度では、特別支援学級は53学級で、来年度また増える見込みです。また通常学級でもそういった子どもたちが目立ちますので、増員をする必要があると思ひています。特別支援教育支援員の推移ですが、平成20年度の15名から26年度の30名で、6年間で倍増になっています。一時期減ったという事はなくて、

学校の状況に応じて増減がありました。

【川上委員】 総数は減っていないという事ですね。

【教育政策課長】 はい。

【中岡委員】 人権教育に充実については、③の豊かな心の部分の内容のところに文言的にも触れてほしいと思います。

【齋藤主幹指導主事】 ③の中に文言をいれていくような形で検討したいと思います。

【井上委員長】 ⑤で「教育的ニーズに応じる特別支援教育の充実」を項目として出していたというのは非常に教育施政方針骨子として良かったと思っております。

【川上委員】 もう一点特別支援教育の充実に関してなんですが、前年度まではここに章立てはなかったのですが、保幼小中連携した特別支援教育の実施という項目を立ててありました。今回は「子供の将来を見据えた」という事で、先のことまで入れるという事でここに含みを持たせたのかなと解釈したのですが間違いないですか。

【齋藤主幹指導主事】 はい。そうです。

【井上委員長】 特別支援教育でタブレットを使用すると効果が非常に得られるのではないかと思います。今回は入らないのでしょうか。

【齋藤主幹指導主事】 今年度モデル導入しています日の里中学校、河東西小学校で効果について検証を始めたばかりなので、結果が明らかになった上で検討します。

【井上委員長】 去年は「子育て支援」という事で出ておりましたが、「子どもの健やかな成長」という形で中身はだいたい同じです。これも基本計画と合わせたのでしょうか。

【子ども部長】 宗像市第二次総合計画の策定最終段階で、表現を柔らかい表現に変えようという事になりました。

【川上委員】 「学びの場」という観点で考えると、図書館は市民の学びの場の基本になるところで、前年度は「市民の学習の場づくり」に市民図書館の運営が入っていて分かりやすかったのですが、今回、図書行政と市民活動が分離されると図書館の一番の基本の学びの場というエッセンスの部分が薄くなるのかなという印象があります。

【教育部長】 総合計画の中でもここの市民活動の中に図書は織り込まれています。来年は図書に関する計画を策定し、今までにない計画づくりを予定しておりますので、来年に限り項目として出したいと考えております。ただ、考え方の基礎は川上委員のご指摘の通りです。

## ②宗像市学校教育アクションプラン2015(案)について(資料3)

【齋藤主幹指導主事】 17ページ資料3の宗像市学校教育アクションプラン2015(案)です。昨年度までの「21世紀プラン」から「アクションプラン」に名称を変えて提案をさせていただきます。このアクションプランにつきましては、学校教育基本計画の流れに沿って、今年度重点的に取り組むものとしてまとめております。目指す子ども像に向かって、学校、地域、家庭の役割を果しながら活動を行っていくという事で、その基本的方向性と重点

施策を挙げています。その重点施策は下にあります安全安心な学校づくりという土台にしてすべてが進んでいくという事と、第Ⅱ期小中一貫基本方針に基づく教育活動の推進というのが、このすべてを包括するような形で表しております。それぞれ内容については、重点施策の中にある確かな学力、豊かな心、健やかな体、それから、教育的ニーズに応じる特別支援教育の充実、それから、学校経営、人材育成と組織マネジメントを含めた学校経営という事で項建をしております。それぞれの内容につきまして、学力総合プロジェクトや、豊かな心育成総合プロジェクト、体力向上総合プロジェクトの中にも織り込みながら進めていきたいと思っております。豊かな心を育む教育活動の充実の中で2番目に生徒指導、人権教育の実践というのをいれているのですが、いじめ防止基本方針の内容は、生徒指導だけではなくて、人権教育の視点に立った取り組みというのが盛り込まれておりますので、生徒指導の推進だけではなくて、人権教育という言葉をつけ加えたいと思っております。豊かな心というのは授業の中でも育んでいかなければならないと考えております。教員研修と学校関連事業等につきましては、本年度とだいたい同じような形で進めていきたいと思っております。全体を教育基本計画に合わせて来年度はアクションプランとして作成しておりますのでご意見宜しくをお願いします。

【宮 司 委 員】 学校経営の充実と書いてある中で2番目の◆の学校運営評議委員会という言葉は聞いたことあるのですが、これはどういう活動をされているのか教えていただけてよいですか。

【齋藤主幹指導主事】 学校運営評議委員会というのは中学校区に設置されていて、外部的に校区内で行われている教育活動を評価する役割を担っています。それぞれの中学校区で学識経験者や保護者代表、コミュニティの代表などを5～6名選出し、小中一貫教育の取り組みについて年間3回程度会議を開催し、学校が自己評価したものに対してご意見をいただいているものです。

【井 上 委 員 長】 やはり小中一貫教育を推進していくためには、非常に大事な評議会だと思います。

【齋藤主幹指導主事】 評価と併せて学校の教育活動等に関する提案等もいただいております。

【中 岡 委 員】 学校経営の充実に関する研修等の中で、学校教育情報化推進委員会というのがありますが、こういった組織なのかお聞かせていただければと思います。

【高木指導主事】 学校情報化推進委員会は校長会・教頭会の代表、教育政策課長と私が出席し、市が学校教育の中で情報化をどのように進めていくかについてお諮りをし、学校との情報交換をするという会合を行っています。

【齋藤主幹指導主事】 一番上の情報教育担当者連絡会、研修会というのは学校に配置されているICT機器をどのように効果的に活用して授業改善を図るかとか具体的な事例を用いて研修する場になっておりますので、それについては確かな学力に入れております。上の方は担当者が中心となって出てきていただいて一番下にある情報化推進委員会というのは校長会教頭会の中から出てきてもらっています。

【中岡委員】 今後ICTをどう活用していくかというのは大きな部分になるだろうと思っていますので、担当者連絡会、研修会、それから情報化推進委員会は今後のICT教育をどのように進めていくかという部分に関わってくるだろうと思うのですが、一体的になってスピード感を持って進めるのが大事ではないかと思います。

【齋藤主幹指導主事】 学校教育情報化推進委員会は、ICT教育全般で情報機器等の設備面についても協議する場になっております。

【川上委員】 どういう部署がどういう役割を担って、どのような頻度で学校に関わっているかとかが一望して今まで見たことがないので、ペーパー組織図なりでわかりやすい全容を出していただければ分かりやすいと思います。

【教育部長】 ICT機能は多額の予算がかかってまいります。これまでは一歩でも早く進めていこうと着手した経緯があるのですが、来年はこれから先の中長期の計画を策定し、学校の体制などを整理し、ハードと併せて検証したいと考えております。

【川上委員】 今まで21世紀プランを基に小中学校の具体的な課題と重点という総括部分がありました。今年度の総括は来年度出していただけるのでしょうか。

【齋藤主幹指導主事】 今回は宗像市学校基本計画を策定するに当たり、宗像市小中学校の現状と課題という事でこの中に載せています。今回はそれを受けてアクションプランを策定しております。来年度以降は、10年プランを基に各年度のプランを作成し、その年度の成果と課題について示していこうと思っています。

【中岡委員】 第Ⅱ期中小一貫基本方針に基づく教育活動の推進に「教育」の文言挿入をお願いします。

## 7 報告事項

### ①行政報告（資料4）

【遠矢教育長】 11月28日は河東西小学校で「ふく給食」を市長と共にいただきました。来年の1月は中学校で、イノシシを使った学校給食を予定しており委員の皆様にもご案内しますので、宜しくお願いいたします。議会では特別支援教育研修、福岡県立宗像中学についての質問がありました。12月7日に福岡ブロックPTA連合会研修会が宗像ユリックスで開催され、福岡事務所管内のPTAにお集まりいただき全体で約800名の参加がございました。宗像が担当という事で自由ヶ丘中学校、自由ヶ丘小学校、自由ヶ丘南小学校のPTA活動の取り組みの報告がありました。12月14日は宗像市福津市小学生県外交流使節団の結団式があり、来年の1月4日から6日まで長野県松本市へ2泊3日で行ってまいります。12月16日は田中元赤間小学校校長の高齢者叙勲伝達式がございました。

### ②後援報告（資料5）

資料5参照 議事録なし

③宗像市史跡保存整備審議会委員の選任について（資料4）

【教育政策課長】 先月の定例教育委員会で審議をしていただいていたのですが、その中で市民代表が未定だったのですが、決定しましたので報告します。

④宗像市就学援助実施要領の改正について（資料5）

【教育政策課長】 先月の定例教育委員会で宗像市立学校児童生徒就学援助規則の改正をさせていただいておりました。それに伴いまして要領を改正しましたので報告するものです。新中学1年生を対象に就学費用給付時期を変更しております。

【教育部長】 今年度の議会でもいろいろご指摘をいただいております。支給時期を変更することで本当に必要なタイミングで支給することができるようになります。新中学生1年生は現在申請されている情報で案内できるのですが、新小学校一年生については実績をございませんので、事前に支給することができません。これについては調査研究を行い協議してまいります。

【井上委員長】 今回は新中学1年生が対象なのですね。

【教育部長】 そうです。

⑤図書課定期監査の結果に基づく措置状況について（資料8）

【図書課長】 資料8参照 議事録なし（▲1分20秒）

⑥図書館まつりについて（資料9）

【図書課長】 資料9参照 議事録なし（▲2分10秒）

⑦図書館来館者アンケート調査結果報告について（資料10）

【図書課長】 資料10参照 議事録なし（▲1分40秒）

⑧平成26年度インフルエンザ様疾患の発生に伴う学校(学年・学級)閉鎖状況について  
(資料11)

【教育政策課長】 資料11参照 議事録なし（▲1分10秒）

⑨ふくおか就学サポートノートについて（当日配布資料）

【正路指導主事】 ふくおか就学サポートノートの活用というのは、傷がいのある子どもの早期から将来を見据えた特別支援教育推進を一貫して引き継いでこうというものです。福岡県教育委員会の取り組みに応じて、宗像市もこれを率先して配布していこうということです。今年度11月12月に特別支援教育コーディネーターの研修会でもノートの活用について話をしました。次年度には、福岡教育大学の連携プロジェクトでも取り組む予定で特別支援教育

の推進を図っていきます。いかに保護者からのご理解を得ることが課題となっています。

⑩平成26年度宗像市教育委員会研修事業評価と次年度の方向性について（資料12）

【西島指導主事】 資料12参照 議事録なし（▲5分）

⑪12月の学校の日について（資料13）

【宮司委員】 河東小学校と日の里中学校に行ってきました。河東小学校はインフルエンザで学級閉鎖のクラスがありました。1年生の授業態度がものすごくよかったことがすごく印象的でした。2年生の持久走では晴れていたのですごく楽しそうに走っているのが印象的でした。日の里中学校では集中して授業を受けていました。3年生は受験まであと少しという事で受験モードに入っていたような様子でした。

【中岡委員】 河東中学校校区の3校に行ってきました。河東中学校では体育館への渡り廊下が工事されていました。以前、錆が非常にひどくて危険を感じていました。生徒は真剣に授業に取り組んでいる様子で掲示物もきちんと貼られて落ち着いた雰囲気でした。河東西小学校では、子どもたちが主体となって学級活動を進めている様子がしっかりと見ることができました。河東小学校でも、姿勢もよくて話し方も聞き方も非常によくできちんとしていました。学級活動の充実という部分が大きいと思うのですが、先生方がどどん子どもたちに投げかけているとそういう場面がたくさん見られました。

【川上委員】 日の里東小学校、日の里中学校、玄海東小学校、適応指導教室に行ってきました。日の里東小学校の校長先生が言われるには小学校一年生がようやく落ち着いて授業を受けられるようになったそうです。特別支援クラスに電子黒板を設置してあったのですが、視覚的に非常に効果が高くて特別支援教室に使う事が非常に子どもたちの理解を深めることに繋がっているという事をお聞きして、先生が自ら作られた教材等も見ることができました。日の里中学校では配備されたタブレットを見せていただくことができまして、これからどういった手法で授業に取り入れていくかという事をみんなで考えていきますという力強いお言葉をお聞きすることができました。校長先生が気になさっていたのが、7年生がようやく落ち着いてきたという事で授業も拝見したのですが、校長先生が本当に中に入られて子どもたちと信頼関係を築いていらっしゃるって非常に暖かい教育をされていると感じることができました。玄海東小学校ではメディアとの付き合い方という講演会を子どもたちは一生懸命聞いておりました。ただ保護者の参加人数が少なかったので校長先生はとても残念に思うという話をされていました。玄海中学校区で全中学校区の保護者を集めてまた講演会を開くという事でみんなに浸透したらいいなと校長先生のお話を伺いました。移動教室でいないクラスを見たのですが、きちんと椅子は整頓され机の上も片づけられて荷物もきちんとしまわれていて、戻ってきたときに、いつでも身構え、心構えができて授業に入れる環境がちゃんと作られているところに感心しました。適応指導教室では生徒が3人来ていて授業がされ

ていました。子どもたちは本当に明るく前向きに授業に取り組んでいて先生も楽しく教えていらっしやったのですが、教職員大学からお二人来ていていました。メイトムが仮工事中という事で、全体的に暗い状態なので玄関も暗い状態で、若干入りづらい感じがありました。

【遠矢 教育長】 午前中は吉武小学校に行つてまいりました。全学年学級活動という事で子どもたちが司会役、書記役をしながら学級活動を展開しておりました。特に低学年は元気がよく、先生の問いかけにも返事が良く活発な様子でした。高学年は落ち着いて非常に学級活動らしい展開をしていました。校長先生のお話では福岡県立宗像中学について保護者の関心があるという事でした。日の里西小学校ではインフルエンザの影響はなくて全学年学級活動をしておりました。低学年の方が若干落ち着きのない子どもさんがあるので指導していく必要があるというのが先生のお話でした。初任研の授業公開と併せて実施されておりました。初任者も2名いらっしやいますけれども、積極的に授業展開されていて非常に良い授業をされておりました。

【井上 委員長】 日の里東小学校、日の里西小学校、自由ヶ丘小学校の三校を訪問いたしました。日の里東小学校では校長先生から1年生が落ち着いてきたという話をお伺いしまして、そして各学年が全体的に落ち着いているという事でした。また、保護者の協力をいろいろな場面で受けて大変感謝しているというお話もございました。教頭先生から1年生が自分たちで栽培したお芋のパーティーを計画しておまして、今年は地域の方の指導で立派なお芋が収穫できたという話を聞きました。また、お芋のクロッキー画が掲示されていて児童達それぞれの個性が出ていて大変良かったなと思っておりました。また、4年生は手作りの体験をやはり地域の方の協力を得て最後の収穫まで体験出来てお米作りの大変さが非常によくわかるし、またご飯を残さず食べるようにもなって自覚が出てきたというお話でございました。日の里西小学校では校長先生より昨年を引き続いて5年生が木育の体験授業を九州大学の演習林で実施するとのことで、参加できるよう風邪を引かないよう注意喚起しているというお話でした。11月に開催された宗像市の環境フェスタでは、6年生が立派に発表できた事を大変喜んでおりました。自由ヶ丘小学校では校長先生より図書館を使った調べる学習コンクールに多くの児童が応募できたのは各学年の担任が相当努力してくれたおかげであり、また賞をたくさんとらせていただき大変うれしく思っているという事でした。スピーチコンテストこれに向けても頑張っていきたいという心強いお言葉をいただきました。

#### ⑫福岡教育大学との連携事業について（資料14）

【教育連携コーディネーター】 特別支援教育部門の全体研修会までの実践をまとめてみました。支援を要する子どもを見つけるための参考として、福岡県教育センターが出している自閉症スペクトラムの特徴が示されています。これは大人にも当てはまります。こういう特徴のある子をこういう視点で見れば、見つけることができますという勉強をみんなですることができました。外国語活動のモデル校である赤間小学校の3回目の授業実践が11月19日に行われました。このプロジェクトでは、英語を使ったコミュニケーションができる宗像の子



どもを育てたいという思いにあります。教育大の5名の留学生に赤間小学校の5年生4クラスの授業に入ってくださいました。留学生自身も初めてでとても緊張していたというようなことでしたが、1時間の終わりのころにはとても仲良くなれていい交流ができたかなと思っています。子どもたちは自分のことを分かってもらうために名札を英語で書きました。お礼の年賀状を子どもたちは書いています。その返事を留学生さんからビデオレターをもらい、3月のありがとう集会にお招きしようという流れでプロジェクトを進めて行っています。特別支援も、外国語もICTも一応軌道に乗りましたので、二年目はこれを全体に広げていければと考えています。

### ⑬福岡県立宗像中学校について（当日配布資料）

【橋本校長】 宗像中学校の設置に至った経緯、教育内容概要説明（▲10分）

#### その他

・東海大学付属自由ヶ丘幼稚園の認定こども園化について（資料なし）

【子ども育成課長】 子ども・子育て支援新制度の平成27年度の開始に合わせて東海大学付属自由ヶ丘幼稚園が幼保連携型認定こども園に移行を予定し準備を進めていましたが、11月27日付で園より来年4月からの認定こども園化の申請を見合わせたいとの申し出がありましたのでご報告いたします。認定こども園は就学前の子どもに教育と保育を一体的に提供する施設で教育である幼稚園部分については認定こども園になることで、保育所と同様に所得に応じた保育料を毎月支払うよう利用者負担の仕組みが大きく変わります。今回移行を見合わせる大きな理由としては認定こども園化による幼稚園部分の保育料について在園児の保護者の同意が得られなかったということが最も大きな理由です。この申し出を受けての保護者への対応ですが、11月に受け付けを行った平成27年度保育利用の申し込み者へは、希望園の変更などを確認しました。また、在園児の保護者に対しましては、園が臨時保護者会で説明をされました。現時点での法人の考えとしましては、今回申請の見合わせをしたけれども、認定こども園への移行をまだあきらめたわけではなく、諸条件を確認しながら、実現したいという意向をもってありますので、現在、市は県を含め法人と協議を進めているところです。

・「大きなクスの下で」美術展V.16の開催について（資料15）

【市民協働・環境部理事】 中村兄弟の作品展示のほか、宗像福津に在住する画家及び作家の作品を展示します。1月24日から2月8日まで宗像ユリックス美術ギャラリーで行われます。関連事業として、体験型の創作ワークショップや、音楽とのコラボレーションのギャラリーコンサート、県立美術館から講師を招いてのギャラリートーク等を同時に開催します。

・宗像市市民参画等推進審議会の委員について（資料16）

【コミュニティ・推進課長】 今年度の委員が決まりましたので報告するものです。先日12日に第2回目の審議会を開催しまして、会長に井上委員、副会長に東委員が再任されています。

・タブレットを使った学習について（当日配布資料）

【高木指導主事】 河東西小学校では、小学校2年生の算数でタブレットを使った学習が展開されております。日の里中学校では、国語、体育、理科、技術の授業で使われております。まだ授業が始まったばかりですが、成果として生徒の意欲喚起また、さらに中学校の授業でみられるように、自分の技能を実際に映像で見て振り返ることができるようになったという成果が表れています。課題といたしましては、機器の不具合も現れておりますので、今後は原因究明を行い、タブレットを活用した授業を進めてまいりたいと考えております。

【教育部長】 これにつきましては、12月に学校に配布してやっと使い始めたものです。3学期にはプレス発表を行い教育委員、議員にご案内したいと思います。

【井上委員長】 今日の資料を見る限り、小学校は個人、中学校はグループで活用という形でいいんですか？

【高木指導主事】 現在ではその形ですが、今後小学校でもグループでの活用も広がるかと思えますし、その活用の在り方については個人、グループ多様な活用の型があると思えますので学校で検証していただきたいと思えます。

【井上委員長】 次回の定例教育委員会は、1月20日午前9時30分から市役所本館3階301会議室で行います。

次回開催予定日1月20日（火）午前9時30分開始

平成27年 / 月 20日

井上 裕之

中岡 政剛